

設計・施工力で先行 気鋭の販売・施工会社

創電

1999年に創業した同社は、当初から愛知県、静岡県を中心に住宅用太陽光発電設備を販売してきた老舗企業だ。それだけに、設備の設置実績は3000件を超えており、特に施工の技術力は東海トップといっても過言ではない。同社は、安全を念頭に配線の取り回しやパネルの系統割り、マイクロクラック対策から漏電・防水・防汚対策までこだわり、自社で架台・基礎を開発する徹底ぶり。



常に先進的なサービスを提供する創電だが、品質に関しては保守的。同社は顧客第一主義を掲げ、徹底して品質重視の発電所づくりを実施してきた

FITが始まってから、土地つき低圧太陽光発電所の販売・施工へ業容を拡大すると、出力50kW未満のパワーコンディショナに出力70kW超の太陽光パネルを設置する過積載設計をいち早く導入、取り組みは常に先進的だった。

その同社がいま、進めているのが「スーパー過積載」だ。低圧太陽光発電所でありながら、太陽光パネルの出力を200kW~350kWまで増やし、蓄電池を併設する斬新な設計で、始めている企業は全国を見渡してもほとんどいない。

常に他社よりも数歩先を行く創電。ここなら間違いない。



日ビルへの創電本社

本社 ▶ 愛知県豊橋市花田町字越水61-1
創電ビル2F
TEL ▶ 0532-80-2991



【代表者】
代表取締役 吉田 暁
<http://soden-solar.co.jp>

新築住宅を建てる方はここに
注目のショールーム

サンコー

新築住宅を建設する際、設置環境やライフスタイル、予算によって、最適な住宅設備は1点ずつ異なる。しかし細かな違いは分かりづらいと感じている方は少なくないだろう。そんな悩みを抱えるあなたにお勧めしたい企業が、名古屋に本拠を構えるサンコーだ。同社は断熱材やサッシ、省エネ機器の仕様から、太陽光発電の搭載量、蓄電池の容量まで、じっくり時間をかけ相談に応じ、丁寧な対応に定評がある。そればかりか、1次エネルギー消費量の算出、外皮計算、光熱費シミュレーションを個別に実施したうえで、多様なプランを提示してくれる。まさに中部地区における住宅エネルギーの総合窓口だ。

サンコーの凄さはこれだけではない。サンコーは最新鋭の省エネ機器を揃えたショールーム、「エナジーベース」を持つ。ここに行けば、太陽光パネルやパワーコンディショナ、蓄電池、HEMS(家庭内エネルギー管理システム)、オール電化製品、V2Hの電気自動車まで揃う。実際に製品を見ながら話を聞けば理解は深まる。新築住宅を建設したい方は、エナジーベースへ足を運ぼう。



広々としたショールーム内には、太陽光発電関連機器、蓄電池、省エネ機器が豊富に揃う



屋根の形状ごとに、どのようにパネルを取り付けるか、どの程度屋根に穴をあけるかまで事前に対応することができる

エナジーベース ▶ 愛知県名古屋市中川区
上高畑2丁目134
TEL ▶ 052-784-9012



【代表者】
総合エネルギー事業部長
鈴木 亨
<http://www.kabu-sanko.jp>

コスト競争力で他社を圧倒 期待の成長株

SanGen

いま東海地域で、最も勢いのある太陽光発電の販売・施工会社といえば、愛知県春日井市に本拠を置くSanGenではないだろうか。低圧太陽光発電所を中心に愛知県や長野県の顧客に販売し、設立わずか2年目にして販売数が月間100件ペースを優に超えているのだ。



高品質な低圧太陽光発電所を業界最安値で販売。愛知、長野のオーナーは必見だ

商品の魅力は何といっても価格。同社は、土地からフェンス、防草シート、遠隔監視装置、動産保険まで、すべて含めた低圧太陽光発電所を1800万円以下で売り出している。売電単価21円でも表面利回り11%以上は望む。

だからといって、品質が劣るのかといえば、決してそうではない。設備は、ハンファQセルズのパッケージ製品に、海外から調達したアルミ架台で構成。施工品質を落とさずに、企業努力で原価を削減している。

アフターフォローも万全だ。年間10万円のO&M(管理・保守)費用で、同社は常時監視から駆けつけまで徹底して引き受けてくれる。利回りを追求するならSanGenだ。



雑草対策として、建設時から防草シートを敷く

本社 ▶ 愛知県春日井市柏原町5-285
TEL ▶ 0568-93-6727



【代表者】
代表取締役 児玉 博文
<http://sangen-solar.com>

営農用太陽光発電はおまかせください

タデック

同社は太陽光発電の事業歴20年の老舗の販売・施工会社だ。東海地域でトップクラスの実績を誇る同社の施工件数は1700件を突破。中部電力の引込み工事を受託しているほか、海外での施工経験も持つ。2017年6月には第3者認証機関であるJET(電気安全環境研究所)の「O&M保守点検業者」に登録し、太陽光発電所のメンテナンス事業にも特化している。



ビニルハウス上に太陽光発電システムを設置しハウス内で野菜を栽培しているほか、有機農業での栽培も実施している

同社は太陽光パネルの下部で農作物を育てる営農用太陽光発電の施工実績も豊富で、2012年に完成した日本初の成功事例と言われる「小粒緑化」の営農用太陽光発電所の設計・施工を手掛けた。注目すべきはその施工方法で、パネルからの雨だれを防ぐため、農作物への影響を最小限に抑える独自の施工技術を開発し、特許を取得した。竹内社長は農業従事者の雇用促進のため、営農用太陽光発電を活用した観光農園の開業も計画している。農地を活用したい方は一度タデックに相談してみてもどうだろうか。



雨だれによる農作物への被害を最小限にするための雨樋を設けた

本社 ▶ 愛知県常滑市市場町1-6
TEL ▶ 0120-51-3380



【代表者】
代表取締役 竹内 政隆
<http://tadec.co.jp>